



大三小だより

特別号(学校評価)

<https://www.nerima-tky.ed.jp/ooizumi3-e/>

[保護者アンケート]

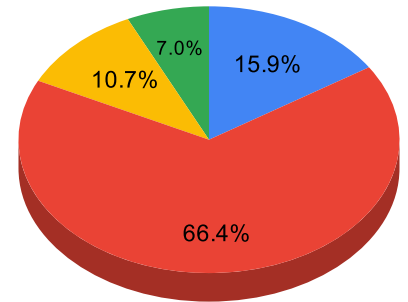
保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。集計がまとまりましたので結果をお知らせします。皆様からいただいた回答、ご意見を踏まえまして、今後一層、教育活動の充実に努めてまいります。(405家庭中271家庭の回答。回答率67%)

各項目の結果は以下の通りです。



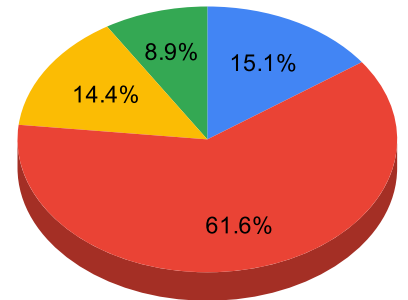
【1】基礎的・基本的な知識・技能を定着させようと工夫や努力をしている。

肯定的な回答は全体の82.3%を占め、本校の教育活動に対して一定の評価が得られました。2年目となる「朝のモジュール学習」による漢字学習や、算数少人数指導での習熟度別課題では、着実な成果が見られます。個に応じた指導の継続に加え、家庭への発信を強化していきたいと考えます。家庭学習の充実を図りながら、更なる基礎学力の向上に努めてまいります。



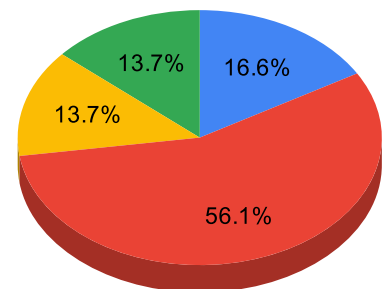
【2】児童の主体的な学びを大切にされた指導をしている。

肯定的な回答は76.7%となっています。「めあて」から「振り返り」までの一連の学習過程が定着し、ノートやプリントに自分の意見や考えを書くことの重要性を感じています。「あまり思わない」との回答が1割強ありました。これは、教師が課題を与える場面が多く、学習が受動的になりがちな現状に対する指摘と受け止めています。児童自らが問いや課題を見だし、解決する授業展開を増やし、より質の高い主体的な学びの実現を目指していきます。



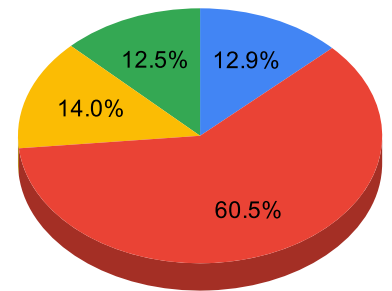
【3】自他の命を大切に、互いに認め合う児童を育成するために工夫や努力をしている。

セーフティ教室や道徳授業地区公開講座などの教育活動が一定の理解を得て、肯定的な評価は7割を超えています。「あまり思わない」「分からない」との回答が多くなっています。校内では教職員や様々な専門家が連携した支援体制を取っていますが、そうした日常的な取り組みが家庭からは見えにくく、十分に伝わりきっていないことが要因と考えられます。組織的な対応や見守りの様子を積極的に発信して「見える化」を図り、保護者・地域の方と命を大切にされた取組の充実を図ってまいります。



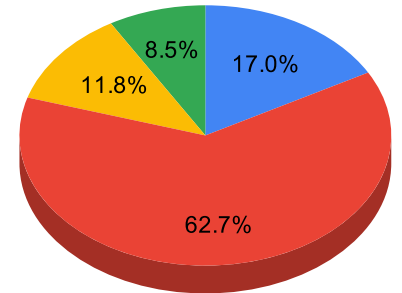
【4】自律的で共に助け合える児童を育成するために工夫や努力をしている。

異学年交流や係活動等を通じた協働の活動を定期的に行っています26.5%の「あまり思わない」「分からない」という回答からは、児童の人間関係や規範意識への不安、および活動内容が見えにくいことへの戸惑いがうかがえます。学級内外の様々な場面で、児童が主体的に協働する場面を更に充実させると同時に、そのプロセスを積極的に発信してまいります。



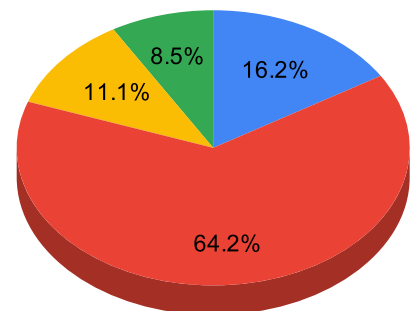
【5】すすんで体を動かす児童を育成するために工夫や努力をしている。

肯定的評価が高かった項目です。体力向上のために取り組んでいる「チャレンジタイム」や「ジョギングタイム」の実施に加え、休み時間の外遊びが日常化していることが、活発な児童の姿として家庭にも伝わっている成果と言えます。これらの活動を継続しつつ、運動が苦手な児童も楽しみながら参加できる工夫を重ね、生涯にわたる運動習慣の基礎を培っていきます。



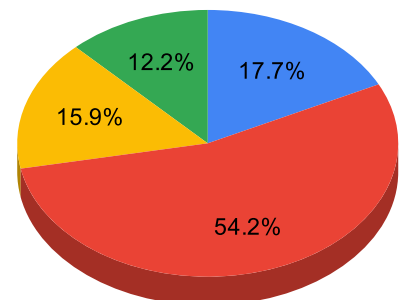
【6】基本的な生活習慣の定着を図るよう工夫や努力をしている。

肯定的評価は8割を超え、校長や職員の日々の挨拶をはじめとする生活指導の積み重ねに対して、保護者に広く理解いただけています。「分からない」などの回答も少なく、学校の姿勢が家庭へ伝わっていると感じています。児童アンケートの「とても思う」と保護者の「とても思う」の割合にかなりの開きがあります。現在の評価に満足することなく、「言われてする挨拶」から「自分からすすんで交わす挨拶」へと質を高める指導を継続し、家庭・地域の皆様との連携も更に深めてまいります。



【7】保護者や地域の方との良好な関わり合いをもてるよう工夫や努力をしている。

肯定的な評価が7割を超え、練馬大根の収穫体験や近隣の幼稚園・保育園との交流活動の定着は、地域連携の成果と考えています。今後は、既存の活動に加え、学校支援コーディネーターを活用し、地域の方をゲストティーチャーにお招きするなど、人的交流を授業へ積極的に取り入れてまいります。地域人材の活用により教育活動の幅を広げ、児童の学びと地域との絆を一層深めていきます。



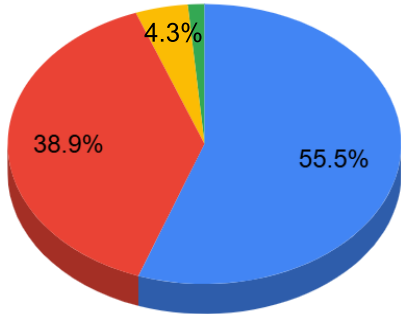
[児童アンケート]

多くの項目で肯定的評価が8割を超え、半数の項目は9割を超えています。子供たちが友達と協力して、楽しい生活をしようとする意欲を感じます。家庭学習や読書に関しては、他の項目に比べ、肯定的評価が低くなっています。分からないときや困ったときに、教職員に相談できる環境を校内に広げてまいります。

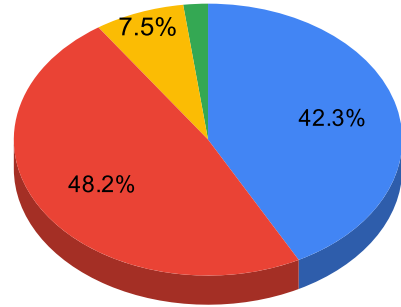
各項目の結果は以下の通りです。



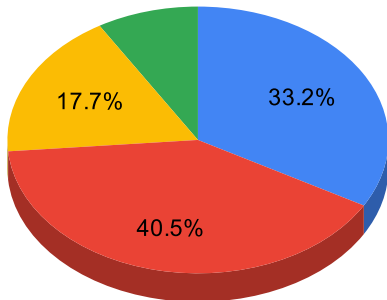
【1】学校は楽しい。



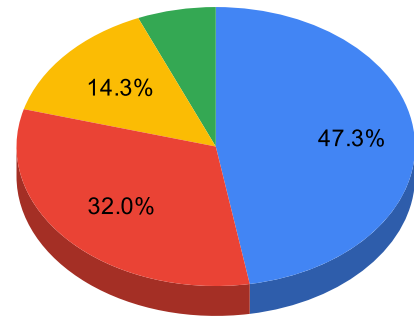
【2】授業はよくわかる。



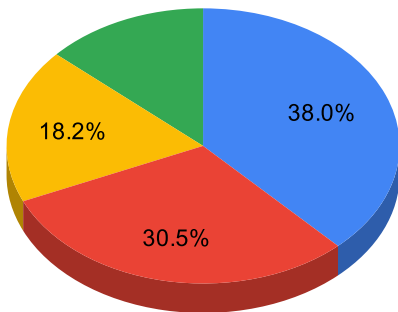
【3】わからない時や困った時は、先生に質問や相談をしている。



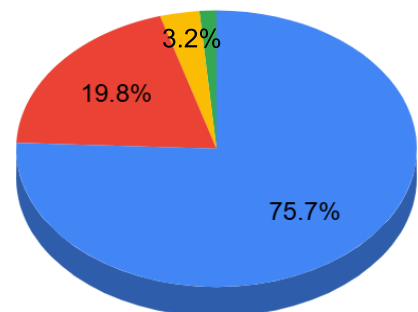
【4】家で宿題や自主学習をすすんでやっている。



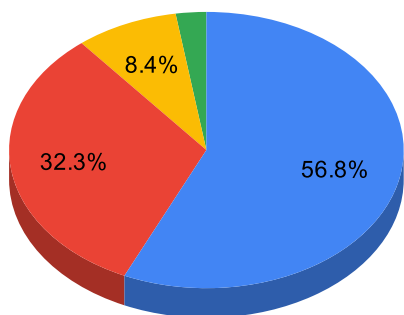
【5】すすんで読書をしている。



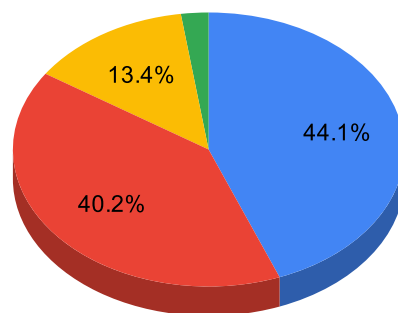
【6】友達と仲よく生活している。



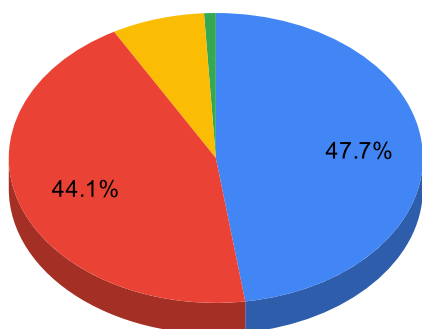
【7】すすんであいさつができています。



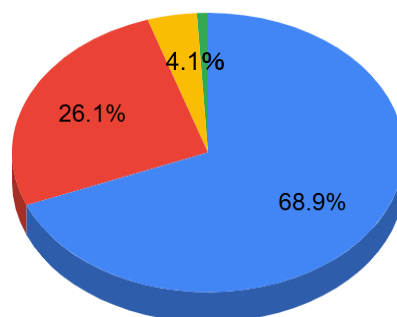
【8】使ったものの後始末ができています。



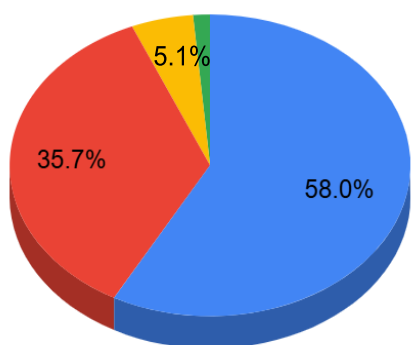
【9】学校や学級のきまりを守っている。



【10】係や当番の仕事をがんばっている。



【11】学校の行事にしっかり取り組んでいる。



【12】外で遊んだり、たくさん運動したりしている。

